

色相環

No. 7

横浜市立領家中学校
第 1 学 年
令和 4 年 7 月 2 0 日

～166人の色を生かそう～

祝◎ タイトル決定！！

学年目標、決定！

しき そう かん
色 相 環

～166人の色を生かそう～

★学年全体へのアンケート&学級委員会での話し合いより…

自分たちの理想像：

自分たちのいい所を残しつつ先輩のいいところをもらう
高みを目指している学年 チャレンジできる学年
うまくいかなかったことを生かす
みんなが一つの場所に常に向かっていく
まわりに流されず、自分の意思をもって行動する
一人ひとりの個性を生かしつつ、一つの学年になる

「個性を生かす、と言っても、自分勝手にバラバラになるのは困るよね」

「いろんな個性（色）があるけどそれをひとつにしていく、みたいな感じにならないかな」

「それってさ、美術で習った色相の反対色（補色）みたいじゃない？」
「反対の色をつぶし合うと汚い色になるけど、互いの色を生かし合うと目立つ色になる、って休石先生が言ってたよね」
(ドラクエとかエヴァンゲリオン of 衣装 緑と紫とか…)

学年のみんなの思いを受けて、学年目標を決定しました。

「色相環 ～166人の色を生かそう～」

誰かの色に合わせて染まる、ということではなく、

好き勝手にぶつかり合ったりつぶし合ったりする、ということではなく、

一人ひとりが自分の色を磨き、それぞれの色を生かし合いながら、みんなでひとつの方向へ向かっていくのです。なんてすばらしいことでしょう。こうして作っていく、赤学年だけの色合い。これからがますます楽しみです。



◇◆◇ 明日から夏休みです ◇◆◇

まもなく1学期が終わろうとしています。皆さんにとって、どんな3か月でしたか。

自分の頑張ったこと、自分のよいところをたくさん見つけられましたか。これからの「なりたい自分」を思い描けていますか。

まずはここまで、よく頑張ってきましたね。みんな、すごく心根がよくて、まっすぐに友達や先生たちの言葉を受け止めてくれる。そして、みんなで頑張るよりよい自分たちを作っていくことの良さをちゃんと知っている。互いに声をかけあい、みんなと力を合わせてここまで一緒に歩んできたことを、とても嬉しく思うし、赤学年のみんなのことを誇りに思います。ありがとう。

来たる2学期、さらにパワーアップできますように。どうぞよい夏休みを。

… その人との出会い …



その人は、私の大切な友人です。その人とは大人になってから出会いました。その人は 賢くて思慮深くて、私にないものをたくさんもっています。私はその人をととても尊敬しています。私はその人からいろいろなことを学ばせてもらっています。

お互いの人生について語り合ったり、笑い話やくくだらない冗談を言い合ったりもします。時には悩みを聞いてもらったり、助けてもらったり…、とたくさん支えてもらっています。私自身もその人にとってそういう存在であれたら嬉しいな、と思っています。

難しいことは抜きにして、その人は大好きな大切な、仲の良い友人です。私の家族も知る、私の親友の一人です。

ある年のある日、その友人が私に言いました。「僕、結婚するんだ。」
「良かったねえ！おめでとう！！」と私が言うと、「彼はね…」と彼が続けたのです。

(んっ？“彼女”じゃないの?)と思う私に、「黙っててごめんね。」と。
「△□×●☆◇×▲…??」一瞬混乱する私。

頭の中がぐるぐるっとなって数秒後。…そうか！でも、これを聞く前と聞いた後とで、彼が私にとっての大切な友人であることに、何ら変わりはないよね、と納得。心からもう一度、「おめでとう。」と伝えたのでした。



彼は自分の友人に対して嘘をついたり隠し事をしたりするのが嫌いな人です。だから、大切な友人である私に、自分が同性愛者であることを隠していたことがとても心苦しかったそう。女性である私に対して本当のことを言うのにはとても勇気が要った、と。私がそれを知ったら自分から離れてしまうかもしれないと思ったから。

彼のその葛藤を想像したとき、それでも私に本当のことを話してくれたことに、私はただただ感謝するしかありませんでした。

私は彼に正直に伝えました。びっくりしたし、ちょっと混乱もしたこと。でも話してくれて本当に嬉しかったこと。そして何より、これまでのあれこれを背負って今ここにいる彼は、やはり私の大好きな大切な友人であること。

その後、私は彼からさらにいろいろなことを学びました。

子どもの頃…成長していく過程で周りと違う自分に気づき、孤独感にさいなまれてきたこと。本当の自分、ありのままの自分をオープンにできない苦しさ…。同じように苦しんでもがいている人が実はかなりの数いるけれど、みんな気付かずにいる。なぜなら、当事者は必死にそれを隠しているから。悪気なく飛び交う冷やかし、からかいの言葉。根拠のないレッテル。日常に、ごく普通にある光景…。

それまでは私も何も感じなかった。知らなかった。

彼に少し大人にしてもらった私は、思うのです。自分の知る世界の狭さと、違いを知り、それを大切にに合うことで広がる世界の豊かさを。

大丈夫。あなたはあなた。そのままのあなたでいい。だから、素晴らしい。どの人も等しく、心からそう思える世界でありますように。「だれもが」「安心して」「自分らしく」。

